

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	H28年度 実施 / 検討	H29年度 実施 / 検討	H30年度 実施 / 検討	R1年度 実施 / 検討	R2年度 実施 / 検討	実施又は 検討/ 未実施又は 未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R3年度～実施または予定している内容	備考		
7	3.図書館サービス網の整備方針	3.2.既存施設の活用	(1)市立の小中学校	学校図書館で市立図書館の本が利用できる仕組みを作る				○	○	○	○	実施	花園中学校区（花園小・花園北小・玉串小）において内容を拡充した団体貸出を実施。通常では100冊2か月のところ、300冊まで2か月で、選書についても多忙な先生方の時間を奪わないように考慮し、選択の必要がない300冊セット・240冊セットのバックを用意するとともに、授業に関連する本のリクエストにも応える。事前に申込していただく、貸出・返却は図書館が学校まで出向くもの。	H30.2	令和3年度からは、モデル校対応でなく、学校司書等を通じてリクエストに応えるなど、各校に通じた団体貸出を市内全域で実施している。			
								○			○	実施	リサイクル資料を学校に譲渡した。	H30.3	継続して実施する。			
7	3.図書館サービス網の整備方針	3.2.既存施設の活用	(2)リージョンセンター・公民館等	各施設の運営主体と連携・調整し図書スペースの改善に努める。また、身近なリージョンセンターでも市立図書館の本が利用できるように努める						○		実施	社会教育課を通じて依頼のあったリサイクル資料をリージョンセンターへ譲渡した。	R2.2	依頼があれば継続して実施する。また、令和3年11月より、楠根・布施駅前市民プラザで出張図書館を実施し、リージョンセンターにおいて図書館サービスを提供できるようにした。			
									○	実施	社会教育課を通じて依頼のあったリサイクル資料100冊を東大阪市立障害児者支援センターレビラへ譲渡した。	H30.5	依頼があれば継続して実施する。					
7	3.図書館サービス網の整備方針	3.2.既存施設の活用	(3)団体貸出の強化	各種団体等へ団体貸出を紹介し、その効果的な使い方を提案し、利用促進に努める						○	○	○	実施	H30年度から特別養護老ホーム「レーベンスボルト」へ団体貸出を開始した。老人ホーム内に永和図書館ミニ図書室を作られ利用いただいている。	H30.7	継続して実施する。		
								○	○	○	○	実施	H29年度より、たまがわ高等支援学校、大阪府立みどり清朋高校への団体貸出を実施中。	H29.9	継続して実施する。			
							○	○	○	○	○	実施	学童保育団体M A K I こだもスクールへの団体貸出を継続実施中。R1年度の新型コロナウイルス感染症対策による図書館休館中には、希望する市立小学校の学童保育に児童書を届けた。	H24.3	継続して実施する。			
7	3.図書館サービス網の整備方針	3.2.既存施設の活用	(4)府立図書館等	近隣10市の図書館が利用できること、府立図書館の資料が利用できること、市民に公開されている大学図書館の情報などを周知				○	○	○	○	○	実施	現在、10市と協定を結んでおり、相互に利用されている。大学図書館の情報も、各大学からのチラシ等を館内に設置している。	H28.4～	継続して実施する。		
8	3.図書館サービス網の整備方針	3.3他施設との複合機能化	(1)新東部地域図書館	(i)合築施設と親和性の高い機能を備える	新東部地域図書館は、郷土博物館、埋蔵文化財センター及び市史資料室との共用スペースを検討するほか、イベントをはじめとする様々な形で協力し、本市の歴史をテーマに市民が交流する場を提供する							検討	平成30年6月に「文化複合施設整備基本計画」を策定したが、令和2年9月に事業の一旦凍結が決定。なお、凍結期間中も郷土博物館や鴻池新田会所等のイベントに関連した書籍の展示、コーナーを設置するなど、連携した取り組みを実施した。	H30	継続して実施する。	文化複合施設		
8	3.図書館サービス網の整備方針	3.3他施設との複合機能化	(1)新東部地域図書館	(ii)必要なスペースの確保	事務室や会議室、給湯室、トイレ、閲覧室等を合築される施設で共有することによってスペースを節約する等、設計・建設を担う自御者と知恵を出し合い、必要なスペースの確保に努める							○	検討	平成30年6月に「文化複合施設整備基本計画」を策定したが、令和2年9月に事業の一旦凍結が決定。	H30		文化複合施設	
9	3.図書館サービス網の整備方針	3.3他施設との複合機能化	(2)新永和図書館	モノづくりのまちを支える情報提供に努める								○	実施	ビジネス支援サービスを付加した図書館として、新永和図書館が開館し、ビジネス支援コーナーの設置や商用データベースの提供、ビジネス支援レファレンスの実施など、モノづくりのまちを支援する情報提供に努めた。	R2年度	東大阪商工会議所、東大阪労働基準監督署等と連絡会を立ち上げ定期的な情報交換や意見交換を行い、東大阪ビジネス支援事業の情報発信に取り組む。		
9	3.図書館サービス網の整備方針	3.4.移動図書館		移動図書館に代わる新たなサービスを模索する。例えば、郵送・宅配による貸出・返却サービスの導入やルート上の施設・団体等への団体貸出などを検討								○	○	検討	行財政改革プラン2020に「移動図書館の見直し」を掲載。令和6年度までに取組を推進する。令和2年9月より郵送貸出サービスを開始。	R2年度	リージョンセンターでの出張図書館を実施すること等により、今後のサービスの在り方を検討する。	
9	3.図書館サービス網の整備方針	3.5.街角図書館の普及促進		公共サービスを補完する取組を市内で盛り上げ、多くの市民が身近で本に触れ、交流する場を増やすことを目指す									○	検討	街角図書館の取り組みの一つとして「家庭・地域文庫」があり、ボランティア団体「東大阪子どもとお話ネットワーク」に加入し活動されている。月1回会議には図書館も出席し活動状況等を情報交換している。さらに普及促進のため社会教育課や市の関係部署と共に先ずは市の施設等を活用した、図書館以外にも市民が身近に本に触れることができる場を増やすことを検討していきたい。	R3年度	家庭・地域文庫を支援するため、引き続き「東大阪子どもとお話ネットワーク」の会議に参加し、課題等を共有する。また、図書館以外で市民が本に触れ合える場としてリージョンセンターでの出張図書館を実施する。	
9	3.図書館サービス網の整備方針	3.6.中央館機能の確保		サービス網の整備と併せて、市立図書館のいづれかに中央館的機能を確保する			○	○	○	○	○	○	実施	平成28年度より花園図書館が東大阪市立図書館の統括館として、対外的な窓口、各館の調整役等の中央館機能を果たしている。なお、現在は永和図書館がその機能を継承している。	H28.4	引き続き取り組む。		
10	4.図書館サービスの整備方針	4.1.基本サービス	(1)資料収集・収蔵	(i)資料の質的な充実	漫画や新刊小説以外の資料も積極的に集め、市民にその利用を書架を通して提案する		○	○	○	○	○	○	実施	各館ともジャンルや内容に偏りのない幅広い資料を選書収集し、様々なテーマで利用者の興味を引くような展示を行なうことで、利用の提案につなげている。	H28.4	引き続き、偏りのない選書を行ない、魅力的な展示テーマで利用の提案に努める。		

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	H28度 実施 / 検討	H29度 実施 / 検討	H30度 実施 / 検討	R1度 実施 / 検討	R2度 実施 / 検討	実施又は 検討/ 未実施又 は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R3年度～実施または予定している内容	備考	
11	4.図書館サービスの整備方針	4.1.基本サービス	(1)資料収集・収蔵	(ii)開架スペース・書庫の拡充	2館の再整備に当たり、開架スペースや書庫スペースの確保に努める			○	○	○	○	実施	花園・永和・四条図書館の収容可能冊数をはるかに超えている状況であったため、大運行政センター跡地を書庫として活用した(H29.11)。その後永和図書館(暫定)は東大阪市立図書館「書庫運用要領」「廃棄選定基準」に沿って資料の有効利用のため書庫を効果的に運用してきたが、その後も図書館資料収容能力と蔵書冊数を見とすで収容能力を超える状態であった。新永和図書館の開館により資料収容能力が18万冊と大幅に増えて蔵書の充実が図られた。	H29.11	引き続き、書庫の運用や廃棄など効果的な運用に取り組む。		
11	4.図書館サービスの整備方針	4.1.基本サービス	(1)資料収集・収蔵	(iii)配架場所の分散化	団体貸出の利用を増やし、学校図書館やリージョンセンターへの配架、家庭・地域文庫への貸出を増やすことで市立図書館の蔵書の分散配置を進める				○			実施	社会教育課を通して依頼のあったリサイクル資料100冊を東大阪市立障害児者支援センターレビラへ譲渡した。	H30.5	依頼があれば継続して実施する		
11	4.図書館サービスの整備方針	4.1.基本サービス	(1)資料収集・収蔵	(iv)寄贈による量的な充実	配架できない寄贈本は個人や組織等が運営する図書館・文庫等に譲り積極的に活用する。そして、寄贈本を有効活用することで、資料費を抑えつつ、市全体として資料の充実・活用の促進を図る		○	○	○	○	○	実施	寄贈本のうち、図書館に必要な図書は、図書館で受入れ利用者に提供して活用し、それ以外のはリサイクルフェアで個人や組織に譲渡し、活用に努めている。	H28.4～	引き続き、図書館での受入れリサイクルフェアを実施する。		
11	4.図書館サービスの整備方針	4.1.基本サービス	(1)資料収集・収蔵	(v)計画的・効率的な実施	資料の増加ペースと配架、保管スペースを把握し、今後の見通しを立て、必要な資料を計画的に収集・保管する			○	○	○	○	実施	花園・永和・四条図書館の収容可能冊数と図書蔵書冊数の経年推移表を作成(H26年度～R3年度)し、資料の計画的な収集・管理に努めている。	H29.11	花園・永和・四条図書館の収容可能冊数と図書蔵書冊数の今後の経年推移表(R4～)の作成を検討。		
12	4.図書館サービスの整備方針	4.1.基本サービス	(2)閲覧・貸出・予約・レファレンス等	(i)閲覧環境の改善	既存施設の活用や団体貸出の増加、街角図書館等の普及促進などにより、市内の閲覧場所・面積を広げる。また、2館の再整備により開架・閲覧スペースの十分な広さの確保に努める		○	○	○	○	○	実施	保育園・幼稚園・サークルボランティア団体や学校連携による小学校への貸出や移動図書館巡回場所近辺の特別養護老人ホーム等図書館以外の場所等への団体貸出数も年々増加している。また、新永和図書館の整備により、暫定永和図書館と比較し、開架スペースで約2倍、閲覧スペースで約3倍の広さを確保した。	H28.4	引き続き、団体貸出等を実施し、市内の閲覧場所・面積の拡充に努める。		
12	4.図書館サービスの整備方針	4.1.基本サービス	(2)閲覧・貸出・予約・レファレンス等	(ii)貸出・返却機会の拡充	図書館サービス網の拡充により市立図書館以外の施設等においても貸出・返却を可能とするなど、貸出・返却機会の拡充を検討		○	○	○	○	○	実施	図書館アンケートでは館外での貸出・返却の要望も多く、ヒバリア書店(本店、コミックランド店)での返却サービスを実施し、大いに利用いただいている。(ヒバリア書店返却冊数=H28:1,869冊,R1:6,204冊,R2:3,638冊)。返却ポストはR1年12月イズミヤ若江岩田店の閉店に伴い、返却ポストが少ない地域の楠根リージョンセンター入口へ移設し返却機会の拡充に取り組んでいる。また、R3年1月には閉店となっていた三菱UFJ銀行花園支店から瓜生堂会館入口に移設した。	H28.4	これまでの取組を継続すると共に、新たにリージョンセンターでの出張図書館における貸出・返却を可能とした。		
							○	○	○	○	○	実施	貸出冊数の拡充(ひとり8冊から10冊に増やした)	H28.4	継続して実施する		
12	4.図書館サービスの整備方針	4.1.基本サービス	(2)閲覧・貸出・予約・レファレンス等	(iii)開館時間の改善	開館時間の延長について、各館の利用実態を踏まえて実施する必要がある。また、週2日のみとなっている分室の開館時間を増やすことを検討する必要がある		○	○	○	○	○	実施	・開館時間を延長した(全館の開館時間を9:00にした) ・3館(花園、永和、四条)の開館時間を21:00に、2分室(大運分室、石切分)開館時間17:00にした。	H28.4	継続して実施する		
							○	○	○	○	○	実施	・開館日数を増加した。 ・3館(花園、永和、四条)の図書整理期間を3日間短縮して開館日数を増やした。 ・3館(花園、永和、四条)の年末年始は休館せず開館日数を増やした。	H28.4	継続して実施する 令和3年4月から、大運分室は日曜日、石切分室は土曜日を新たに開館した。		
12	4.図書館サービスの整備方針	4.1.基本サービス	(2)閲覧・貸出・予約・レファレンス等	(iv)レファレンスサービスの充実	積極的なレファレンスサービスの提供が可能な業務体制を構築する		○	○	○	○	○	実施	利用者の問題解決に努めてきた	H28.4	レファレンスに対応するカウンター職員を引き続き配置する		
13	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.1.地域性を活かしたサービス	地域性を活かしたサービスにより、市民はもとより市外にも東大阪を広くPRし、注目と関心を集める					○			実施	田辺聖子文学館と連携し、田辺聖子氏の書籍等特設コーナーを開設し、貸出も行った。	H31.2	東大阪市ゆかりの作家の展示など取り組む		
									○			実施	ヴェルノール布施設予定地で発掘された宮ノ下遺跡について、宮ノ下遺跡発掘調査編集者による講演会開催。併せて東大阪市埋蔵財文化センターとの連携により宮ノ下遺跡出土土器を展示した。	H30.9	東大阪市埋蔵財文化センターや郷土博物館などと連携し郷土文化の継承に取り組んでいく。		
									○			実施	保管期限切れ雑誌「月間陸上競技」を、東大阪市陸上競技協会へ毎月譲渡中。資料の所蔵先は花園ラグビー場。	H30.4	依頼があれば継続して実施する		
							○	○	○	○		実施	H28年度は近鉄ライナーズとの連携で選手の講演会を実施、H30・H31年度はRWCを盛り上げるための展示を実施した。いずれもラグビー関連書の展示・貸出、横断幕の設置、ポスター掲示・チラシ配布を実施し、H28・H30年度は市より木製の大きなラグビーボールを貸与していただき展示した。またH30年度は花園ラグビー場で試合のある国のユニフォームを貸与していただき、展示した。	H28.12	機会があれば継続して実施する		
14	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(1)乳児期～幼児期：ブックスタートから始まる、図書館とのつきあい	(ii)子育て支援サービスの展開	ブックスタートや読み聞かせなど従来行ってきた乳幼児が本に親しむためのサービスに加え、子育てに関する様々な情報提供や子育て中の市民の交流の場となるサービスの提供に努める						○	実施	絵本リストを冊子にし、その内容も子どもの生活につなげるものとし手に取りやすくした。 なお、新型コロナウイルスの影響により、令和2年3月から読み聞かせは中止し、ブックスタートバックの配布のみを行っている。	R1.4	継続して実施する ブックスタート紹介動画のURLを二次元バーコードで配布すると共に、東・西保健センターにおいて、紹介動画を放映している。	

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	H28度 実施 / 検討	H29度 実施 / 検討	H30度 実施 / 検討	R1度 実施 / 検討	R2度 実施 / 検討	実施又は 検討/ 未実施又 は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R3年度～実施または予定している内容	備考
15	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(2)学齢期：学校図書館の充実を支え、より豊かな学校教育を	学校司書の全校配置が完了するまで、学校図書館をサポートする							実施 (R3～)	-	R3.4	令和3年4月から、市内小中学校（義務教育学校を含む）全76校に週1日ずつ学校司書を配置できるよう募集をかけ、現在定員である19名を採用している。	
15	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(3)社会人	(i)キャリアアップ！学びたい、もう1度働きたい私にチャンス	大学の発信する情報を積極的に収集し、市民の学びに役立つ情報を提供するよう努める	○	○	○	○	○	実施	東大阪市内の4大学の図書館一覽リーフレットを作成し市民利用のための手続き方法等を紹介している。また市民に役に立つ情報として東大阪市内大学の公開講座の紹介リーフレットを作成し、配布している。	H28.10	継続して実施している。	
16	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(3)社会人	(ii)ビジネスに役立つ情報収集！図書館は私のビジネスパートナー	仕事に必要な資料や情報等を提供するサービスを始める。更にビジネス情報活用のための講習会を行い、総合的な支援サービスの提供に努める	○	○	○	○	○	実施	ビジネス・就労支援の専門資料は、約3,800冊所蔵している(R3.12月)。目的別に収集し貸出等を行っており、仕事に役に立つ、特に市民のニーズにあったサービスに特化するビジネス支援資料の提供を行っている。	H28.10	ビジネス情報活用のための講習会を施設環境が整っている永和図書館で取り組んでいく。	
16	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4)高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	大活字本の充実、点字資料やデジタライズ資料の拡充を図る。デジタイズ図書は、現在市内のボランティア団体で作成していただいていることから、その支援の充実を図る		○	○	○	○	○	実施	様々な資料を購入するとともに、サビエに加入したことで、視覚に障害のある方の幅広い希望に応えることができるようになった。また、身体に障害のある方には宅配サービスの実施している。	H28.4～	ウェブサイトや、図書館だよりなどで、サビエに加入していること及び、大活字本を始めとするバリアフリーの資料をPRしていく	
16	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4)高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	大活字本等の資料の存在をアピールし、市民に幅広く利用していただけるよう、図書館のコンピュータ目録に登録し、検索・予約が容易にできるようにする。それと共に、音声データ（録音図書）の作成や利用に関する案内や支援の重視を図る		○	○	○	○	○	実施	大活字本は図書館のコンピュータ目録に登録され、検索・予約は容易に可能。別途大活字本リストも作成している。また、ボランティアの協力により録音図書の作成を行なっている。録音図書もコンピュータ目録に登録しているが、一般の利用者が予約される可能性があるため、ウェブサイトには公開していない。	H28.4～	録音図書の利用に関する案内を作成し、館内に設置する。また、録音図書を聞く機器を館内で利用できるよう、案内を設置する。	
16	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4)高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	図書館への来館が難しい障害者や高齢者のために、施設への団体貸出や出張貸出・朗読、宅配等のサービスを検討する							実施	社会教育課を通して依頼のあったリサイクル資料100冊を東大阪市民障害児者支援センターレビラへ譲渡した。	H30.5	依頼があれば継続して実施する	
16	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4)高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	市民が、より多くの本を利用できるように、身近なリージョンセンターでも市立図書館の本が利用できるように努める							実施	社会教育課を通して依頼のあったリサイクル資料をリージョンセンターへ譲渡した。	R2.2	依頼があれば継続して実施する。また、令和3年11月より橋根・布施駅前市民プラザで出張図書館を実施。	
16	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4)高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	高齢介護サービスなど高齢者向け公共サービス情報（パンフレットなど）や関連資料・情報を一通り揃えておく必要がある		○	○	○	○	○	実施	関係機関から図書館にいただいたパンフレットを設置している。	H28.4～	今後は、さらに積極的に収集し、設置する	
16	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4)高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	高齢者向けの健康づくりや食生活に関する本や雑誌・新聞記事を提供する。新聞の家庭欄などには関連する記事が多いうえ、短くまとまっており、写真や図形も多く、分かりやすいため、テーマ別の切り抜きやファイルの提供や講座での配布資料の収集・提供にも努める		○	○	○	○	○	実施	東大阪市内発行の情報誌や大阪府内から届けられる資料など、図書館内に設置している雑誌スタンドやブックスタンドに置いて自由にお持ち帰りいただいている。	H28.4	継続的に資料収集し、情報提供する。	
16	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4)高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	市の進める「協働のまちづくり」の担い手として期待される様々な地域の団体や、シルバー人材センターや老人クラブなど高齢者の参加を待っている団体の情報や、高齢者の関心が高いイベントの情報などを収集し提供に努める							実施	東大阪障害福祉キャンペーン実行委員会主催「ふれあいのつどい」にはじめて図書館から参加し、点字体験のブースに出展した。イベントを通じて障害者やご家族と意見交換をおこない、併せて図書館の障害者サービス支援の取り組みなどをご説明した。	R1.11	社会教育課および地域活動支援室と連携し、東大阪市民プラザなどでアンケートなど実施し、それを通じて情報収集をおこない、適宜図書館からも情報発信していく。	
16	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4)高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	まちづくりなど、高齢者等が自らの知識や技能、経験を活かして参画し協働することができるような図書館ボランティアの養成について検討する		○	○	○	○	○	実施	東大阪市民朗読ボランティア「やまびこ」は録音図書の制作や対面朗読などのボランティアを図書館を拠点として活動しており、またやまびこ自身でボランティアを募集され養成されている。必要の都度図書館は連携・支援している。	H28.4	図書館の本の配架や修理など図書館サービスにおけるボランティアを募集・養成し、図書館ボランティアとして参画し協働できる仕組みを検討していきたい。	

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	H28年度 実施 / 検討	H29年度 実施 / 検討	H30年度 実施 / 検討	R1年度 実施 / 検討	R2年度 実施 / 検討	実施又は 検討/ 未実施又 は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R3年度～実施または予定している内容	備考				
17	4.図書館サービスの整備方針	4.3.情報発信・PR等の強化	フェイスブックなど様々な媒体を活用した情報発信・PRを強化する必要がある。少なくとも、図書館ホームページにおいて、今後取り組むサービスの一覧や各サービスの詳細等を示していくと共に、パンフレット・ポスター等の公共施設等への配置、広報への定期的な情報発信等、積極的なPRに努める。							○	○	○	実施	・図書館ウェブサイトにFaceBookのサービスを開始した。(R1.10) ・図書館から「新着お知らせサービス」を開始し、新着本やイベント情報など定期的に発信している。(H30.4)	H30.4	継続して実施する				
							○	○	○	○		実施	・H28.9月ボランティアイベント「えほんはともだち」で利用者登録の受付を実施した。 ・H29.11月に社会福祉施設若草園主催の近隣住民とのイベントに参加し2名の新規登録があった。 ・H29.12月にハローワーク布施主催の「モンづくり女子応援セミナー」に共催で参加し3名の新規登録があった。 ・H30年度よりドリム21で「こちら花園図書館出張所」を開催し、H30年度4件、R1年度5件の新規登録があった（R2は新型コロナウイルスの影響により実施していない）。	H28.9	継続して実施する					
													○	○		実施	H30年9月よりブックスタート会場で出張登録会を開催し、H30年度44件、R1年度43件の新規登録があった。(R2は新型コロナウイルスの影響により実施していない)	H30.9	継続して実施する	
															○		実施	令和元年度、夏休み前に小学校へ配布した図書館案内用紙での新規登録が49件あった。	R1.7	継続して実施する
20	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(1)各種プログラムの実施	(i)レクリエーション	絵画・工作・歌・手遊び・体操等を親子で楽しみ・学ぶプログラムを定期的に開催する				○	○	○	実施	「おはなしのとびら0.1.2.」を開催。0.1.2歳の子どもと保護者対象。読み聞かせ・手遊びなど。「ほっこりライブラリ」を開催。4ヶ月～就学までの子どもと保護者対象。ベビーマッサージ・ふれあい遊び・手作り・読み聞かせ・わらべ歌等	H30.4	継続して実施する					
21	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(1)各種プログラムの実施	(ii)乳幼児向けお話し	絵本等の読み聞かせについて、子育て支援サービスに注力する館では、年齢層別に、かつ高頻度での開催を旨とする					○	○		実施	R1年4月から0.1.2歳対象としたお話し「おはなしのとびら0.1.2.」を開催。絵本の読み聞かせ、わらべ歌など	R1.4	継続して実施する				
										○	○	○	実施	H30年4月から4ヶ月以上の乳幼児を対象に「ほっこりライブラリ」を開催。ベビーマッサージ、ふれあい遊び、絵本の読み聞かせなどを行う。	H30.4	継続して実施する				
21	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(2)専用スペースの設置	子ども向けの専用スペースの設置						○		検討	平成30年6月に「文化複合施設整備基本計画」を策定したが、令和2年9月に事業の一旦凍結が決定。			文化複合施設				
21	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(3)子育ての助けになる資料・情報等の収集・集約	育児に関する専門図書・資料と市内の子育て情報(地域のミニコミ誌等のフリーペーパーや子育てサークル・団体等のチラシ類、更に子育て卒業者からの寄贈資料など)を中心に収集を強化する						○	○	○	実施	平成30年4月から育児・こそだてに関する資料や子育てサークル・団体等のチラシ類、乳幼児のCDを集約していた資料を子育て支援コーナーにまとめた。	H30.4	継続して実施する				
										○	○		実施	カウンターで対面の相談・支援を行う。その他、関係機関からの子育て支援に関するチラシなどを常設。	R1.9	継続して実施する				
22	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(4)情報収集等の支援	(ii)保護者向け講習会	資料・情報等の活用法の講習会(「絵本の楽しみ方」「胎教による音楽」「食育」「はめ方・叱り方」など)を実施					○	○	○	実施	「ほっこりライブラリ」のときに利用者の方と話をし対応。乳幼児向け行事開催時、参加者との会話の中で子育てに必要な情報を提供。子育て支援コーナーを設ける。	H30.9	継続して実施する				
										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(5)専門機関と連携したサービス	(i)専門職・機関等への相談取り次ぎ	子育てについて専門的な相談を必要とする利用者に、関係機関(子育て支援センターや保健センター、家庭児童相談室等)の専門家への取り次ぎを行い、すみやかに相談が受けられるよう支援する					○	○	○	○	○	○	○	○			
										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
22	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(5)専門機関と連携したサービス	(ii)出張相談会・イベント等	専門機関が平日に実施している相談会やイベントを、図書館内にて定期的(特に土日等の休日)に出張して開催してもらうことで、平日に専門機関に行くのが難しい保護者を支援する								○	○	○	○	○			
22	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(6)休日サービスの柔軟な導入	講座・レクリエーション等の休日開催に努める						○	○	○	○	○	○	○	○			
23	1.子育て支援サービス	1.2.施設等構成	(1)乳幼児・親や保育者向けの設備・対応等	図書館が安全でバリアフリーな場所となるための設備・対応(段差の解消・給湯室・授乳室等)が必要								検討	平成30年6月に「文化複合施設整備基本計画」を策定したが、令和2年9月に事業の一旦凍結が決定。			文化複合施設				
23	1.子育て支援サービス	1.2.施設等構成	(2)施設	(i)専用スペース	乳幼児の音が他の利用者の迷惑とならないよう、児童エリア内に関仕切りをして設置。靴を脱いで利用、カーペット敷き、入口にはベビーカー置き場と靴箱を配置など								検討	平成30年6月に「文化複合施設整備基本計画」を策定したが、令和2年9月に事業の一旦凍結が決定。			文化複合施設			
23	1.子育て支援サービス	1.2.施設等構成	(2)施設	(ii)研修室	20席程度のテーブル席と、壁面にホワイトボードやスクリーン等が設置された部屋が必要							検討	平成30年6月に「文化複合施設整備基本計画」を策定したが、令和2年9月に事業の一旦凍結が決定。			文化複合施設				

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	H28度 実施 / 検討	H29度 実施 / 検討	H30度 実施 / 検討	R1度 実施 / 検討	R2度 実施 / 検討	実施又は 検討/ 未実施又 は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R3年度～実施または予定している内容	備考
23	1.子育て支援サービス	1.2.施設等構成	(2)施設	(iii)相談室	専門家・専門機関等と連携した出張相談や、専門家へ取り次いだ個別相談のための部屋が必要				○			検討	平成30年6月に「文化複合施設整備基本計画」を策定したが、令和2年9月に事業の一旦凍結が決定。			文化複合施設
23	1.子育て支援サービス	1.2.施設等構成	(3)子育ての助けになる資料・情報等の配架スペース	関係機関や団体等のパンフレット・チラシ・フリーペーパー類を収集・配架する			○	○	○	○		実施	関係機関や団体等のパンフレット・チラシ・フリーペーパー類を集約して子育て支援コーナーに配置。	H29.4	継続して実施する	
24	1.子育て支援サービス	1.2.施設等構成	(4)担当要員の配置・確保	通常の司書としての知識やスキルに加え、子育て支援に関する十分な知識を有する職員の配置やスキルのある市民の支援を受けることで、質・量共に充実したサービスの円滑な実施を図る					○	○	○	実施	「大阪府子ども読書活動推進について」の研修参加。他市の子育て支援の研修への参加。行事参加ボランティアなどに講習会を行う。	H30.4	継続して実施する	
24	1.子育て支援サービス	1.3.実現に向けた課題	(1)必要なスペースの確保	新築もしくはリニューアルする2館において、子育て支援サービスを実施する場合は、資料の配架と閲覧に必要十分なスペースの確保を最優先した設計とする必要がある					○			検討	平成30年6月に「文化複合施設整備基本計画」を策定したが、令和2年9月に事業の一旦凍結が決定。			文化複合施設
24	1.子育て支援サービス	1.3.実現に向けた課題	(2)専用コーナーへの資料の集約	3館2分室の開架及び書庫に散在する関係資料から、今回専用コーナーに集約する資料の選別、古く陳腐化した資料の除籍及び処分、新たに収集する資料の選定、それら資料の配置など、資料収集・集約・配架のために多くの準備作業が必要						○		実施	除籍資料の整理と選書基準に基づき、子育て関係の収集、CDの収集の継続。各館から資料を移管した。	R1.8	継続して実施する	
24	1.子育て支援サービス	1.3.実現に向けた課題	(3)3館2分室との役割分担の整理	新たに子育て支援サービスの中心となる館に、資料等やプログラムをどの程度集約し、他の施設のサービスはどの程度継続するのか、運営体制の観点からも検討・整理が必要								検討	文化複合施設整備計画が再開された際に、具体的な検討を進めていく。		継続的に検討する。	
24	1.子育て支援サービス	1.3.実現に向けた課題	(4)関係機関との連携	サービス開始前から定期的に情報交換や意見交換を行う、年間で出張相談や出張イベントの計画を共同で作成するなど、双方の担当職員が継続的に行う必要がある								検討	保健センターの「ツインズクラブ」やあさひこ子育て支援センター主催の行事へ参加し、関係機関との連携に取り組んでいる。定期的な情報交換や意見交換を通じて出張イベントを共同企画なども検討していきたい。		文化複合施設整備計画が再開された際に、具体的な検討を進めていきたい。	
25	1.子育て支援サービス	1.3.実現に向けた課題	(5)利用拡大(立地・PR)	(i)館の立地	子連れで気軽に立ち寄れるよう立地条件を整える				○			検討	平成30年6月に「文化複合施設整備基本計画」を策定したが、令和2年9月に事業の一旦凍結が決定。			文化複合施設
25	1.子育て支援サービス	1.3.実現に向けた課題	(5)利用拡大(立地・PR)	(ii)広報・PR	市のホームページや広報等の様々な媒体を通じ、サービス内容の周知を繰り返す必要がある				○	○	○	実施	「まなびトライ」・フリーペーパー「まみたん」などへ掲載し、いろいろな媒体を通じてイベントや展示などを周知している。	H30.7	継続して実施する	
26	2.学校連携	2.1.必要機能(提供サービス)	(1)学校図書館での館外資料の利用	(i)図書館同士の連携	他校の資料、市立図書館の資料、市立図書館を介した市外(国会、府立、他市)の図書館の資料を、学校図書館にて一元的に検索・予約し、貸出・返却できるサービスを提供する		○	○	○	○		実施	<ul style="list-style-type: none"> ・H29.12月に英田南小学校より4年生社会科授業で使う本(大和川・消防署・警察署・防災・地震・火事・交通事故・交通安全・安全な学校生活を考える本)の依頼があり、47冊団体貸出。 ・H30.2月に花園小学校より教科書の「よんでみよう」に紹介されている本の依頼があり、16冊を学校支援資料と一緒に貸出。 ・H30.5月に玉川小学校より1年～6年生までを対象とした戦争平和学習に使用する本を100冊依頼があり貸出。 ・H30.11月に英田南小学校より国語の授業用『ビバーのダム』関連書と2年生向け動物の本を各複数冊依頼があり、47冊貸出。 ・H31.4月に玉川小学校より学校支援の300冊限度では児童数360名に不足しているため、動物の本を学校支援と一緒に依頼があり、100冊を学校支援と一緒に団体貸出。 ・R1.5月に玉川小学校より子育てネットワーク委員会より絵本・児童書の依頼があり、88冊貸出。 ・R1.6月に玉川小学校より戦争の本を学校支援と一緒に依頼があり、86冊を学校支援と一緒に貸出。 ・R1.12月に英田北小学校より教科書に載っている児童書を4年生4クラス分用意の依頼があり、可能なものは4冊、不足分は可能な限り用意して295冊貸出。 ・R1.12月に英田北小学校より4年生4クラスの図書館の本を使った調べ学習「ちがいで」発表の展示依頼があり、展示コーナーで1クラス1週間ずつ4週間展示。 ・R3.1月に西堤小学校より「どうぶつのおやこ」の本を100冊借りたいとの申し出があり100冊貸出。 	H29.12	学校図書館にて一元的に検索・予約し、貸出・返却できるサービスを提供することは難しいため、今後は学校司書と連携し、各校のニーズを把握したうえで市立図書館の蔵書及び電子図書館を活用してもらうなど、読書環境の充実に努める。	

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	H28年度 実施 / 検討	H29年度 実施 / 検討	H30年度 実施 / 検討	R1年度 実施 / 検討	R2年度 実施 / 検討	実施又は 検討/ 未実施又 は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R3年度～実施または予定している内容	備考
26	2.学校連携	2.1.必要機能(提供サービス)	(1)学校図書館での館外資料の利用	(ii)学校図書館の蔵書の充実	団体貸出の仕組みを活用し、市立図書館の多数の資料を一定期間(月単位)貸し出し、定期的に入替えることで、学校図書館の蔵書を充実させる			○	○	○	○	実施	花園中学校区(花園小・花園北小・玉串小)において内容を拡充した団体貸出を実施。通常では100冊2か月のところ、300冊まで2か月で、選書についても多忙な先生方の時間を奪わないように考慮し、選択の必要がない300冊セット・240冊セットのブックを用意するとともに、授業に関連する本のリクエストにも応える。事前に申し込んでいただくと、貸出・返却は図書館が学校まで出向くもの。	H30.2	令和3年度からは、モデル校対応でなく、学校司書等を通じてリクエストに応えるなど、各校に適した団体貸出を市内全域で実施している。	
26	2.学校連携	2.1.必要機能(提供サービス)	(2)学校図書館の開館時間の拡大	学校図書館の開館時間を拡大できるよう支援する								未実施	-		令和3年度から配置された学校司書の取組に協力することで、学校図書館の開館時間の拡大など学校図書館の充実に繋がるよう支援する。	
26	2.学校連携	2.1.必要機能(提供サービス)	(3)本と利用者をつなぐ人によるサービス	教職員や児童・生徒の本の選択を支援し、ブックトークや読み聞かせ、ストーリーテリングのような本に親しむプログラムを行うなど、人によるサービスの充実を支援する								実施	・H29.3月に花園小学校1・2年生対象で出張おはなし会(絵本紹介・大型絵本・大型紙芝居・エブリンシアター・図書館利用案内)実施。 ・H31.3月に意岐部小学校3・4・5年生対象で出張おはなし会(ブックトーク・大型絵本・エブリンシアター・図書館利用案内)実施。	H29.3	継続して実施する	
													・H29.1月に布施北高校2年生対象で出張読み聞かせ講習・図書館利用案内を実施。 ・H29.3月に花園小学校3・4年生対象で出張ブックトーク指導・利用案内を実施。 H29.10月に花園小学校図書委員対象で出張読書講習会(本の修理・ブック貼り指導)実施。 ・H31.1月に花園小学校図書委員対象で出張面展作成教室(面展台・ポップ制作の指導)実施。 ・H31.2月に玉串小学校図書委員対象で出張面展作成教室(面展台・ポップ制作の指導)を実施。	H29.1	継続して実施する	学校への出張講習会
													・館内案内・利用案内・質疑応答・利用登録・貸出を実施。 ・H28年度は花園北中・加納小・玉川小・花園小・意岐部小・八戸の里小・英田北小・英田南小・若江小の9校。 ・H29年度は花園小・英田南小・玉川小・花園北小・意岐部小・英田北小の6校。 ・H30年度は花園北小・花園小・英田北小・玉川小・英田南小・意岐部小の6校。 ・R1年度は花園北小・枚岡東小・玉川小・英田南小・花園小・縄手北小・孔舎衛東小・意岐部小の8校で実施。 ・R1年度見学実施の意岐部小より見学の感想をまとめた壁新聞を図書館で展示してほしいとの依頼があり、児童コーナーで展示した。	H28.5	継続して実施する	小学校3年生の見学、および感想新聞の展示
													・館内案内・書架整理・カウンター業務・予約確保業務・本の装備・ミニシアターなどを実施。 ・H28年度は花園中・石切中・盾津中・玉川中・池島中・若江中・長瀬中・枚岡中・孔舎衛中・英田中の10校。 ・H29年度は孔舎衛中・英田中・石切中・玉川中・盾津中・枚岡中・若江中・花園中・池島中・縄手中・小阪中の11校。 ・H30年度は英田中・意岐部中・玉川中・盾津東中・石切中・盾津中・枚岡中・花園中・石切中・枚岡中・若江中・縄手中の12校。 ・R1年度は孔舎衛中・英田中・玉川中・花園中・石切中・枚岡中・小阪中・盾津中・八尾市高安中・若江中の10校で実施。	H28.10月	継続して実施する	中学校2年生の職業体験
													・館内案内・書架整理・カウンター業務・予約確保業務・本の装備・おはなし会などを実施。 ・H28年度より布施北高校インターンシップ・デュアル研修を実施。 ・H28・H29年度は小学校教員10年目研修を実施。 ・H30年度は東大阪大学インターンシップ、および大阪大谷大学、関西大学、大阪大谷大学の司書課程図書館実習を実施。	H28.7	継続して実施する	高校生以上の見学・研修
26	2.学校連携	2.1.必要機能(提供サービス)	(4)読書通帳サービス	児童・生徒に「読書通帳」を発行する。この通帳に、借りた本の書名等を銀行の預金通帳のように機械等で記載するサービスを提供し、児童・生徒の本の利用促進に努める			○	○	○	○	○	実施	・H28年4月より自書式で30冊記載可能な読書通帳を児童用と幼児用の2種類の配布を開始し、達成者にはスタンプを押印した。 ・夏休みには小学生対象で10冊記載できる簡易版を配採用し、達成者にはきらきらシールを配布した。 ・H30年1月より行事の講師をお願いした絵本作家の谷口智則さんが描いた表紙絵の1種類に統一し、大人の利用者にも好評である。	H28.4	継続して実施する。	
27	2.学校連携	2.2.必要な設備	(1)図書館システムとの連携	(i)学校図書館システムへの支援	学校図書館システムの構築にあたっては、図書館システムとの連携を視野に入れて支援を行う							未実施	R2年6月に西堤小学校、7月に藤戸小学校、新喜多中学校に伺い、学校図書館の現状と図書館への要望について聞き取りを行った。連携に向けては学校図書室の資料整理と市立図書館からの応援可能な業務の検討が必要となる。		学校図書館にて一元的に検索・予約し、貸出・返却できるサービスを提供することは難しいため、今後は学校司書と連携し、各校のニーズを把握したうえで市立図書館の蔵書及び電子図書館を活用するなど、読書環境の充実に努める。	
27	2.学校連携	2.2.必要な設備	(1)図書館システムとの連携	(ii)学校図書館の蔵書へのバーコード貼付	学校図書館システムで貸出・返却処理ができるよう、蔵書へのバーコードの貼付が必要							未実施	R2年6月に西堤小学校、7月に藤戸小学校、新喜多中学校に伺い、学校図書館の現状と図書館への要望について聞き取りを行った。連携に向けては学校図書室の資料整理と市立図書館からの応援可能な業務の検討が必要となる。		学校図書館にて一元的に検索・予約し、貸出・返却できるサービスを提供することは難しいため、今後は学校司書と連携し、各校のニーズを把握したうえで市立図書館の蔵書及び電子図書館を活用するなど、読書環境の充実に努める。	

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	H28度 実施 / 検討	H29度 実施 / 検討	H30度 実施 / 検討	R1度 実施 / 検討	R2度 実施 / 検討	実施又は 検討/ 未実施又 は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R3年度～実施または予定している内容	備考
27	2.学校連携	2.2.必要な設備	(1) 図書館システムとの連携	(iii)図書館システムとの連携に必要な設備等の整備	学校図書館システムで市立図書館等の蔵書の貸出・返却処理ができるよう、図書館システムとの連携に必要な端末類の設置やネットワーク整備等が必要							未実施	R2年6月に西堤小学校、7月に藤戸小学校、新喜多中学校に伺い、学校図書館の現状と図書館への要望について聞き取りを行った。連携に向けては学校図書室の資料整理と市立図書館からの応援可能な業務の検討が必要となる。		学校図書館にて一元的に検索・予約し、貸出・返却できるサービスを提供することは難しいため、今後は学校司書と連携し、各校のニーズを把握したうえで市立図書館の蔵書及び電子図書館を活用するなど、読書環境の充実に努める。	
27	2.学校連携	2.2.必要な設備	(2)学校図書館への学校司書の配置	学校司書の配置を支援する								実施 (R3～)	-	R3.5	令和3年4月から、市内小中学校（義務教育学校を含む）全76校に週1日ずつ学校司書を配置できるよう募集をかけ、現在定員である19名を採用している。	
27	2.学校連携	2.2.必要な設備	(3) 通帳の発行、記帳機の学校図書館への配置	「読書通帳」（冊子）を児童・生徒数分だけ準備すると共に、児童・生徒が通帳を押し借りた本の書名等を記帳する機器等を学校図書館に配置する必要がある								未実施	R2年6月に西堤小学校、7月に藤戸小学校、新喜多中学校に伺い、学校図書館の現状と図書館への要望について聞き取りを行った。連携に向けては学校図書室の資料整理と市立図書館からの応援可能な業務の検討が必要となる。		令和3年度から配置された学校司書と連携し、取組を検討する。	
28	2.学校連携	2.3.実現に向けた課題	(1) 学校図書館システムへの蔵書登録等	学校図書館の蔵書の登録には、データの補正やバーコードの貼付等の膨大な作業が必要となる								未実施	R2年6月に西堤小学校、7月に藤戸小学校、新喜多中学校に伺い、学校図書館の現状と図書館への要望について聞き取りを行った。連携に向けては学校図書室の資料整理と市立図書館からの応援可能な業務の検討が必要となる。		学校図書館にて一元的に検索・予約し、貸出・返却できるサービスを提供することは難しいため、今後は学校司書と連携し、各校のニーズを把握したうえで市立図書館の蔵書及び電子図書館を活用するなど、読書環境の充実に努める。	
28	2.学校連携	2.3.実現に向けた課題	(2) 学校図書館システム・記帳機等の学校図書館への導入	多額の予算が必要となるため、準備作業が終わった学校から段階的に導入することで導入費用の平準化を図ることも考えられる								未実施	R2年6月に西堤小学校、7月に藤戸小学校、新喜多中学校に伺い、学校図書館の現状と図書館への要望について聞き取りを行った。連携に向けては学校図書室の資料整理と市立図書館からの応援可能な業務の検討が必要となる。		学校図書館にて一元的に検索・予約し、貸出・返却できるサービスを提供することは難しいため、今後は学校司書と連携し、各校のニーズを把握したうえで市立図書館の蔵書及び電子図書館を活用するなど、読書環境の充実に努める。	
28	2.学校連携	2.3.実現に向けた課題	(3) 学校司書の配置	一斉に配置するのではなく、まず半数の学校から段階的に配置することや、1名の学校司書が2校を受け持つ方法でスタートすることが考えられる								実施 (R3～)	R2年6月に西堤小学校、7月に藤戸小学校、新喜多中学校に伺い、学校図書館の現状と図書館への要望について聞き取りを行った。連携に向けては学校図書室の資料整理と市立図書館からの応援可能な業務の検討が必要となる。	R3.5	令和3年4月から、市内小中学校（義務教育学校を含む）全76校に週1日ずつ学校司書を配置できるよう募集をかけ、現在定員である19名を採用している。	
28	2.学校連携	2.3.実現に向けた課題	(4) 学校司書の研修	新たに雇用される学校司書にとって、情報を交換し、学びあうことができる場が必要								実施 (R3～)	R2年6月に西堤小学校、7月に藤戸小学校、新喜多中学校に伺い、学校図書館の現状と図書館への要望について聞き取りを行った。連携に向けては学校図書室の資料整理と市立図書館からの応援可能な業務の検討が必要となる。	R3.7	令和3年7月と8月に開催された学校司書連絡会に参加し、講義や意見交換等を行った。	
29	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能（提供サービス）	(1)専用コーナーの設置	仕事に役立つ大抵の資料が揃っているような専用コーナーの設置に努める						○	○	実施	ビジネス支援資料の所蔵はH28.10から継続して購入し約3,100冊所蔵（R2.10）となり、仕事に役立つ資料の配架は充実してきている。閲覧室、パソコン席、サービスカウンターなど閲覧環境も整った（R2.5）。	R2.5	資料の購入を継続する。	
29	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能（提供サービス）	(2) 充実した閲覧環境	パソコンの持ち込みにも対応し、電源コンセントを備えた、さまざまな資料を広げやすいテーブルを必要数配置すると共に、インターネット検索による調べものも可能なよう、インターネットに接続できるLAN環境も備えた閲覧コーナーを設ける						○	○	実施	持ち込みパソコンの利用が可能となるよう各テーブルに電源コンセントを設置した。また、ビジネス支援用のパソコンの設置により商用データベースを利用できるようにし、有料で印刷もできる環境を整えた。	R2.5	継続して閲覧環境の整備に努める。	
30	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能（提供サービス）	(3) 仕事に役立つ資料の収集・集約	専用コーナーでは、仕事に役立つ情報・資料の収集を強化すると共に、3館2分室に散在する既存の関係資料等を集約する。資料・情報は、地域のフリーペーパーも含め幅広く収集する。加えて、このようなジャンルの資料・情報は陳腐化するのも早いことから、専用コーナーに置く資料の更新・入替え等には十分注意する			○	○	○	○	○	実施	ビジネス支援資料の所蔵数：3,100冊 仕事に役にたつ、市民のニーズに合った資料を中心に収集。モノづくり関係業界新聞、東大阪市を中心に関西に本社のある企業へ社史等寄贈を依頼した。 業界新聞（15社）、社史等（55社）を所蔵	H28.10	継続して収集に取り組む	専門図書・資料の収集の強化
30	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能（提供サービス）	(4)利用の支援	(i)情報収集支援ツールの提供	ビジネス情報リストや記事索引、レファレンスの事例、パスファインダー等を整備し、提供する					○	○	実施	商用データベースの使いかた、ビジネス支援相談案内などを作成し配布している。	R2.5	継続して情報収集支援ツールの提供に取り組む。	
30	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能（提供サービス）	(4)利用の支援	(ii)専門職員によるレファレンス	専用コーナー担当の職員を配置し対応する					○	○	実施	兼任によるビジネス支援担当を配置している。	R2.5	継続してビジネス支援担当スタッフを配置する。	

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	H28年度 実施 / 検討	H29年度 実施 / 検討	H30年度 実施 / 検討	R1年度 実施 / 検討	R2年度 実施 / 検討	実施又は 検討/ 未実施又 は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R3年度～実施または予定している内容	備考
30	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能(提供サービス)	(4)利用の支援	(iii)使い方講習会	専門資料でデータベースの基本的な使い方や、便利なツール・活用方法等について、専用コーナー担当の専門職員による講習会を定期的に開催する。また、インターネット検索で調査する人のために、インターネットやデータベースの簡単な効果的な使い方や、インターネット上で信頼性の高い情報の見分け等、利用者が便利に感じるハウツーについて講習する					○	○	実施	使い方講習会の開催を計画していたが、新型コロナウイルス拡大防止対策面から延期し、インターネットやデータベースの使い方を紙ベースで作成し配布している。	R 2.5	インターネットやデータベースの使い方など机上ベースから実践的な講習会を開催する。	
31	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能(提供サービス)	(4)利用の支援	(iv)連携する専門家・機関等への取り次ぎ	利用者が専門家への相談を必要とする際には、関係機関への取り次ぎを行い、すみやかに相談が受けられるよう支援する		○	○	○	○	○	実施	求人情報・就職活動などの情報提供をハローワーク布施と連携し、就労支援イベントの共同開催や就労関係及びビジネス関連のポスターやチラシ掲示等を双方施設内に常設する取組みを実施。	H28.11	商用データベースのサービス提供。休日午後や平日夜間帯のビジネス支援サービスカウンターの開設と担当司書の配置 商工会議所、市経済部モノづくり支援室など関係機関との連携。 ビジネス支援担当者の育成による利用者サービス向上の取組み。	
31	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能(提供サービス)	(5)夜間開館の柔軟な導入		ビジネス支援サービスについて、平日夜間の開館について曜日・時間帯を検討し、仕事帰りに立ち寄りやすい方にとって最適な開館時間を設定する					○	○	実施	H26年6月実施のビジネス支援サービスに関するアンケートから利用したい曜日時間帯が多い平日夜間(火・木)及び土日祝日の日中時間帯にビジネス支援サービスカウンターを設定している。	R 2.5	当面は現曜日時間帯で設定しサービス提供の状況を見ながら必要であれば見直しを検討する。	
31	3.ビジネス支援サービス	3.2.施設等構成	(1)仕事に役立つ資料の配架スペース		ビジネス書や専門書等の図書のほか、DVD等の映像資料(配置するPCもしくは持ちこみPCで閲覧)、市内の産業・雇用関係機関や事業所等のカタログ・パンフレット・フリーペーパー類を収集・配架する。新聞は「日経工業新聞」「日経産業新聞」等、雑誌は「日経ものづくり」等を配架する		○	○	○	○	○	実施	ビジネス支援コーナー設置し、就労・資格、ビジネス書、専門書及び雇用関係、ビジネス関係のパンフレット類を配架。(暫定永和)	H28.10	引き続き、専門書等の配架に努める。	専門図書・資料の配架
32	3.ビジネス支援サービス	3.2.施設等構成	(2)閲覧環境	(i)閲覧室兼講習室	パソコンの持ち込みにも対応し、電源コンセントを備えた、さまざまな資料を広げやすいテーブルを配置し、インターネットに接続できる無線LAN環境を提供する。壁にはホワイトボードやスクリーンを備え、講習会の会場としても使えるようにする		○	○	○	○	○	実施	ビジネスマン向けに持込パソコンでIT環境支援のため無線LANサービスを提供。	H28.10	ビジネス支援専用のパソコン席、情報収集支援ツールの提供など充実した閲覧環境の提供。	
32	3.ビジネス支援サービス	3.2.施設等構成	(2)閲覧環境	(ii)パソコン席	インターネット検索による調べもの可能なよう、インターネットに接続でき、DVD資料が閲覧できるパソコンを設置した席を設ける。また、有料で印刷やコピーができる複合機を設ける					○	○	実施	パソコンを設置し、商用データベースを導入して有料で印刷できる環境を整えた。	R 2.5	継続して閲覧環境の整備に努める。	
32	3.ビジネス支援サービス	3.2.施設等構成	(2)閲覧環境	(iii)サービスカウンター	職員が資料の貸出・返却、各種対応等を行うカウンターを設ける					○	○	実施	ビジネス支援サービスカウンターを設置し、兼任によるビジネス支援担当を配置している。	R 2.5	継続してビジネス支援担当スタッフを配置する。	
32	3.ビジネス支援サービス	3.2.施設等構成	(2)閲覧環境	(iv)資料探し相談コーナー	サービスカウンターに隣接し、資料の探し方等の相談にのり、お手伝いをするレファレンスサービスのためのスペースを設ける。館内外の資料等の検索端末を設置する他、各種バスファインダー等も置く					○	○	実施	ビジネス支援サービスカウンターを設置し、兼任によるビジネス支援担当を配置している。 ビジネス支援コーナーにはパソコンを設置し、商用データベースを導入して有料で印刷できる環境を整えた	R 2.5	継続してビジネス支援担当スタッフを配置する。 継続して閲覧環境の整備に努める。	
32	3.ビジネス支援サービス	3.2.施設等構成	(3)専用コーナー担当の司書職員の配置		資料の選定・収集・入替えや、レファレンス、講習会の実施、専門の関係機関との連携等、専用コーナーを運営する職員が必要となる。このため、通常の司書としての知識やスキルに加え、ビジネス支援に関する十分な知識を有する職員の配置に努める					○	○	実施	兼任によるビジネス支援担当を配置している。	R 2.5	継続してビジネス支援担当スタッフを配置し、さらにスキルアップに努める。	

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	H28年度 実施 / 検討	H29年度 実施 / 検討	H30年度 実施 / 検討	R1年度 実施 / 検討	R2年度 実施 / 検討	実施又は 検討/ 未実施又は 未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R3年度～実施または予定している内容	備考
32	3.ビジネス支援サービス	3.3.実現に向けた課題	(1) 専用コーナーへの資料の集約	3館2分室の開架および書庫等に散在する関係資料から専用コーナーに集約する資料を選別する。その際、古く陳腐化した資料等の除籍及び処分も行う。新たに収集する資料の選定、それら資料の配置など、多くの準備作業が必要となる			○	○	○	○	○	実施	永和図書館はビジネス支援サービス担当館として、仕事に役に立つ、市民に役に立つビジネス支援資料の提供を目指して、ビジネス・資格・業界・就労・パソコン・モノづくり・東大阪・機械加工・中小企業・社史に分類し収集を始めた。ビジネス・就労支援の専門資料など所蔵冊数は3,000冊所蔵している(R2.6月)。	H28.10	継続して資料収集に取り組む。	
32	3.ビジネス支援サービス	3.3.実現に向けた課題	(2) 必要なスペースの確保	市立図書館はいずれの館・室も手狭で、十分な広さの確保が長年の重要課題となっている。今回3館のうち1館が新築、1館がリニューアルの予定となっていることから、この2館にて本サービスを実施する場合は、資料の配架及び閲覧に適切なスペースの確保を優先して設計を行う必要がある						○	○	実施	新永和図書館となり、永和図書館(暫定)の約2倍の延べ床面積(暫定永和:697㎡、新永和:1300㎡)となり、暫定永和の蔵書冊数:135,000冊(R1.2)に対して新永和蔵書スペースは開架:85,000冊、閉架:105,000冊があり、55,000冊の余裕ができた。	R2.2	新永和図書館の広いスペースを有効に活用し、継続してビジネス・就労支援の専門資料などの資料収集に取り組む。	
33	3.ビジネス支援サービス	3.3.実現に向けた課題	(3) 利用拡大(立地・PR)	(i)館の立地 ・交通機関の要所に近い所に立地する必要がある ・子育てで離職中の主婦が、子連れで仕事や資格探し等に来館することも考慮し、駐車場が確保されていること ・連携する産業支援等の関係機関等と近接しており、各機関等に取り次ぐ場合に利用者が足を延ばしやすいくこと ・商業施設やオフィス等、多くの人の出入りがある他の施設と隣接し(或いは合築され)、いわゆる「ついで利用」や「ながら利用(カフェに本を持ちこみ読書等)」が容易で、図書館の存在をアピールしやすいこと、等						○	○	実施	R2.5月に新永和図書館に移転し、立地環境が暫定永和時と比較すると、近くに交通機関があることや複合施設内であることは大きな相違はないが、新永和が東大阪商工会館内にあることや日本政策金融公庫東大阪支店が近くにあることなどビジネス支援で連携する関係機関と近接し、各機関との連携がとりやすい環境となっている。	R2.5	産業支援等の関係機関(東大阪商工会議所、東大阪労働基準監督署、日本政策金融公庫東大阪支店等)と連携し東大阪ビジネス支援サービスに取り組む。	
33	3.ビジネス支援サービス	3.3.実現に向けた課題	(3) 利用拡大(立地・PR)	(ii)広報・PR 市のホームページや広報等の様々な媒体を通じ、サービス内容の周知を繰り返す必要がある。また、利用促進のためのツールや仕掛けを用意する等の工夫も検討していく必要がある			○	○	○	○	○	実施	暫定永和図書館時代から布施公共職業安定所と連携し、求職活動中の人に就職情報や資格試験情報など図書館資料を情報提供することや相互の機関が開催する場所などに出向き図書館サービスのPRを行ってきた。	H28.10	新永和図書館においてビジネス支援コーナーでの閲覧環境やサービスカウンターの設置などが整い、図書館ウェブサイトや連携機関など様々な広報媒体を使って利用者増に向けて取り組んでいく。	
33	3.ビジネス支援サービス	3.3.実現に向けた課題	(4) ビジネス支援の知識を有する司書の配置	業務に関連する知識やノウハウを有する司書の配置に努める						○	○	実施	兼任によるビジネス支援担当を配置している。	R2.5	継続してビジネス支援担当スタッフを配置する。	
34	3.ビジネス支援サービス	3.3.実現に向けた課題	(5) 関係機関との連携	サービス開始前から定期的に情報交換や意見交換を行い、双方の担当職員が継続的に連絡を取り合うよう努める			○	○	○	○	○	実施	永和図書館(暫定)時代から大阪府立中之島図書館やハローワーク布施などと情報交換や連携イベントなどを行っている。	H28.10	東大阪商工会議所、東大阪労働基準監督署、日本政策金融公庫等との連絡会を再開し、定期的な情報交換や意見交換を行い、東大阪ビジネス支援事業の情報発信に取り組む。	